

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立桜中学校

校長 澤井 広美

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

本校は、平成28年度に四日市版コミュニティスクール（CS）の指定を受け、「桜中学校運営協議会」が発足しました。本校の学校づくりビジョンの柱のひとつである「家庭と地域等との連携」を推進するための大きな力となっています。

そして、保護者や地域の方々の様々な視点から意見等を本校の教育方針や教育計画の作成に活かし、学校経営の改善を図ることでの、地域に信頼される学校づくりを目指しています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

本年度7回の会議を持ちました。第4回と第5回は体育祭と文化祭での生徒の活動の様子を参観いただきました。第2回は、桜台小学校の運営協議会と合同開催で、第3回は、桜小学校の運営協議会と合同開催で、各校の取り組み実践を共有することで、小中が連携し地域の力を学校運営に活かすことができることは大きいと感じています。また、協議会には、地域にある学校として県立四日市西高等学校にも参加を依頼し、地域ぐるみの連携を強化しています。

平成29年度に「将来住みたくなる桜地区について」というテーマで、地域団体と生徒との懇談会をもちました。懇談後、地域のために何ができるかを考え、「地域理解」と「地域貢献」をCS活動の基本方針としました。それ以来、3年間の学びのカレンダーを作成して、各学年で取り組みを行っています。今年度は昨年度まで中止してきた地域と連携した校内除草作業や年度末の学習発表会も再開をしました。

①体育祭・合唱コンクール

2学期に体育祭と文化祭を実施しました。各学級で練習に取り組んできた成果を、一所懸命に発揮して仲間との絆を深める様子が見られました。文化祭は合唱コンクールだけでなく、普段の授業の成果の発表として展示見学も行いました。CS委員の方々にも、真剣な表情で活動する生徒の様子を参観していただきました。



【体育祭の様子】



【合唱コンクールの様子】

②挨拶運動と下校見守り運動

本校では、職員による毎日の下校指導に加え、定期的に朝、生徒会、室長会、専門委員会による「あいさつ運動」を実施しています。また、月1回「桜地区安全・安心まちづくりの会」の方々による下校見守り活動をしていただいています。生徒が、地域に見守られていることを実感し、自ら進んで挨拶ができることと、桜地区が笑顔であふれ、生徒たちが生徒たちの活動で将来も住みたくなる地区にしていけることを期待しています。



【安心・安全まちづくりによる下校の見守りの様子】

③フラワーオアシス（年2回）

生徒会役員と各クラスの室長と書記、そして有志の20名程度が集まり、地域の方にコツを教えていただきながら矢合川の川沿いに花の苗を植栽しました。



【フラワーオアシスの様子】

④校内除草作業

新型コロナウイルス感染対策のため中止してきた校内除草作業を、3年ぶりに実施しました。早朝から地域ボランティア「やっそこ屋」の方々に、樹木の剪定や草刈りをしていただきました。その後、生徒は学年ごとにPTAと一緒に、校内と学校周辺の草を集め体育祭に向けて環境整備を行いました。



【校内除草作業の様子】

⑤紙飛行機制作会

新春生徒会企画「紙飛行機大会」を行いました。

桜地区に在住の紙飛行機の達人の先生に、アドバイスをいただきながら紙飛行機をつくりました。できた紙飛行機は空高く滑空していきました。理論から、実践に至るまで幅広く丁寧に教えていただき新年から良い経験ができました。



【紙飛行機制作の様子】

⑥学習発表会

1年間の活動の様子や総合的な学習の時間の学習内容の発表を、校内除草作業と同様に、3年ぶりに実施しました。新型コロナウイルス感染対策のため、発表者以外は教室でのリモートでの視聴で行いました。1年生は福祉学習、2年生は職場体験学習と社会見学、3年生は将来設計として夢地図の発表を代表者が行いました。また、生徒会から地域ボランティア「やっところ屋」の代表者に感謝状を贈呈しました。



【学習発表会の様子】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールでの協議から、桜中学校区内の3校で通学路における「横断歩道のハンドサイン」の取り組みを始めました。横断歩道での意思表示により安全に登下校できるようになったこと、挨拶ができる生徒が増えたことで地域からの評価が高まりました。3校合同のコミュニティスクールで情報共有ができること、そして学校と駐在所や地域との協働連携の成果と考えられます。

また、コミュニティスクールで学校の困り感を共有し、委員の協力を得て地域ボランティア「やっところ屋」が発足して、PTAとともに連携した学校環境整備ができたことは今年度の大きな成果にあげることができました。

3 今後に向けて

本校では、このコミュニティスクールを生徒の豊かな成長を促進させるための重要な方策としています。そのために、先進校の取組を参考にしつつ、桜地区に合い、根差した、桜中学校独自のスタイルを確立していくよう努力しています。

コミュニティスクールを中核として、生徒会や有志での地域行事の参加を継続させるとともに、地域人材の活用を一層進めることで生徒の地域理解と地域貢献を図り、地域社会への参画意識を高めたいと考えます。また、次年度も学校行事等におけるPTAの支援を受けながら、学校・家庭・地域が連携協働した学校づくりを進めたいと考えています。